

## デジタル思考について

ICTカレッジで考えるデジタルビジネス時代の人材に必要な要素の1つ「**デジタル思考**」は、デザイン思考などを駆使して、**イノベティブにビジネスやサービスをデザイン**できること、です。

デジタル思考という言葉はアナログ思考と対比されて使われることも多いですが、ここでは、デジタルビジネスやデジタルトランスフォーメーションを推進、実現するために必要な思考と捉えてください。

代表的なものとしては**デザイン思考**があり、デジタル時代において、ベースとなる考え方といえるでしょう(詳細は以下参照)。また、イノベティブにビジネスやサービスをデザインするために必要なユーザー中心の視点やそれらを推進するためのリーダーシップ、論理的思考、マインド(高いEQなど)なども重要なデジタル思考と考えています。



### デザイン思考

#### 今、なぜデザイン思考なのか？

現在、デザイン思考が注目されている大きな理由の1つは、デジタル・ビジネスのデザインも含めて、イノベーションを創出するうえで役に立つと見なされてきているからです。

デザインとイノベーションとはよく似ています。どちらも既存のものも含めた新しい組み合わせを活かすという特徴を持ち、それが価値あるものとして社会に広く受け入れられることを追求し(「芸術作品」や「発明」は必ずしもそうではありません)、デザイナーもイノベーターも自身の「直観」と「論理」の両方を活用しています。

#### デザイン思考とは

「**デザイン思考**」とは、**ビジネスにおいて様々なイノベーションを起こすことを目的として、デザイナーの思考・行動様式を応用できるように体系化したもの**です。

イノベーションを求めて客観的な情報やデータを収集・分析して新規企画を立案しても、「あなたは何がしたいのか?」と主観を問われて困惑したり、他社と似たり寄ったりの企画になってしまうことがよくあります。

また、「では、どうすればよいのか?」という方法論になると、具体的には分からず、結果的に従来型の客観的・分析型のアプローチに落ち着いてしまうことが少なくありません。

デザイン思考は、上記のような陥りがちな状況から脱し、客観的・分析的なアプローチからだけでは困難な、**イノベティブな価値を生み出す体系的な方法論を備えたスキルおよびマインドセットとして注目**されています。



## デジタル思考(デザイン思考)を学び、実践する力を高めるコース

ICTカレッジでは、デジタル思考(デザイン思考)を体系的に学び、実践力を高めるコースを複数ご用意しています。

UAF87L

**デザイン思考の基礎 ～ビジネス価値を見出すために～**  
「デザイナーがデザインする時のように」頭と手を動かし、直観と論理を活かしながら、イノベティブな新しいビジネス価値を見出すスキルを高めます。

UAF92L

#### 次世代リーダー育成プログラム (デジタル/レガシー変革・若手編)

DXの推進を担う次世代のリーダーを育成することを目的とし、他社の若手社員と徹底的に議論・対話をしながら、新しい価値創造を共に創り上げるオープンイノベーションプロジェクトに取り組みます。

UAF78L

#### ビジネスに活かす論理的思考 ～基本理解とトレーニング～

論理的思考はデジタル思考の基礎となります。本コースで演繹、帰納、仮説推論などをしっかりと身に付けることで、デザイン思考やリーダーシップを効果的に発揮する力を高めます。

UAF82L

#### EQ(感情能力)を高める

##### ～共創時代における人間関係構築に向けて～

共創ビジネスをはじめとした新しい価値を生み出すインフラであるステークホルダーとの良好な人間関係を構築するために、感情をうまく扱うスキルを磨きます。